

Tooth mould chart

SR ビボデント S PE
SR オーソタイプ S PE

機能性と審美性のバランスがとれたDCL
PMMA採用 人工歯



Processing Instructions

シェード

SR ビボデント S PE:

- 20 PE シェード (01, 1A, 2A, 1C, 2B, 1D, 1E, 2C, 3A, 5B, 2E, 3E, 4A, 6B, 4B, 6C, 6D, 4C, 3C, 4D)

シェード選択

シェードは、IvoclarのA-DまたはS PEシェードに従い、SR ビボデント S PE シェードガイドを用いて決定します。



SR ビボデント S PE シェードガイドの特長

シェードガイドに使用されているサンプルはオリジナル製品と同じ構造と材質を採用することで、シェード誤差を最小限に抑えられています。
患者のシェードテイクは、昼光灯(色温度5,500K)又は太陽光(できれば北方向の光)の下でおこなってください。

前歯

前歯の選択

前歯は審美的要求が高いため、解剖学的および繊細な個々の特徴を反映させることが求められます。そのため、患者の要望を反映しながら選択することが望ましいです。

前歯の形態はトライアングル(尖形)、オーバル(卵円形)、スクエア(方形)の3分類です。各形態には、それぞれ独自の特徴があります。

- ✓ **トライアングル(尖形)**
歯頸部に向かって幅径が狭い形態が付与されています。歯頸部から切縁にかけて緩やかな豊隆です。
- ✓ **オーバル(卵円形)**
歯頸部から切縁にかけて豊隆が顕著です。特に唇側面の大きなカーブが特徴的です。
- ✓ **スクエア(方形)**
隅角部にかけて角張った形態が特徴で、特に中切歯は顕著です。歯頸部から切縁にかけて豊隆は中程度です。

チエーサイド

SR ビボデント S PE シェードガイドに付属しているフェイシャルメーターにより、適切な前歯のサイズをS/M/Lから選択することができます。

ステップ 1: フェイシャルメーターで鼻翼幅を計測し、適切な人工歯のサイズS/M/Lを選択します。

ステップ 2: 選択したサイズより、トライアングル(尖形)、オーバル(卵円形)、スクエア(方形)の中から形態を選択します。

パピラメーターは、リラックス時の上唇ラインの決定と 上顎前歯の切縁位置決定の参考になります。上顎前歯人工歯の長径サイズ選択の重要な情報となります。

Processing Instructions

ラボサイド

頸堤模型の解剖学的ランドマークを基準点として決定し、人工歯を排列します。

a) 犬歯の排列位置

上顎歯列弓において、犬歯唇側面の排列基準は、第一横口蓋皺襞の先端付近から、約9mmの位置になります。

b) 上顎中切歯の切縁位置

通常の咬合状況では、上顎中切歯の唇側面を切歯乳頭中央から約7mm前方に排列調整します。

上顎中切歯の切縁は、咬合高径1/2から2mm下顎前歯方向へ垂直被蓋する位置に排列します。

上顎6前歯の歯列弓の幅径は、モールドチャートから適切な前歯人工歯の幅径を参考に選択します。

中心咬合位では、上顎の舌側咬頭が、下顎の中心窩と辺縁隆線に位置します。

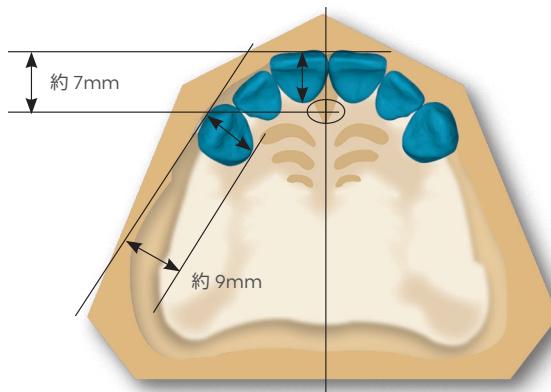
また、下顎においてTyp人工歯の安定咬合接触点は、頬側咬頭となり、咬合安定が得られます。

人工歯の破折防止と、色調効果を維持するためには、最低限の厚みを確保してください。

前歯：唇側 最低 2.5 mm

臼歯：中心窩 最低 2.0 mm

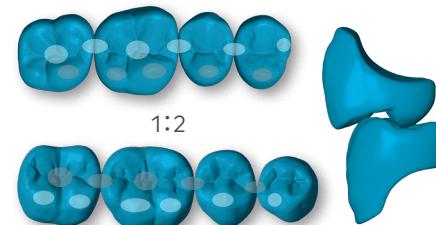
咬頭 最低 2.5 mm



臼歯

このモールドチャートの組み合わせ表によって、前歯のサイズに適応した臼歯を容易に選択することができます。

臼歯の人工歯であるSR オーソタイプ S PEには、サイズが4種類あり、咬合面の形態はDr. Strackにより開発されたTypシリーズを継承しています。また、SR ビボデント S PEのシェード20種類の全てを製品にラインアップし、審美面でも患者のニーズに対応できる人工歯を選択可能です。



歯頸部 最低 2.5 mm



画像：当社Typシリーズ

咬合様式

ノーマルバイト1歯対2歯咬合様式

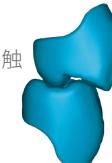
SR オーソタイプ S PE は全部床義歯や部分床義歯だけでなく、コンビネーションやインプラント支持補綴にも適応可能です。

1歯対2歯咬合のノーマルバイトの咬合接触が付与されています。

1歯対2歯咬合の咬合接触



咬頭対窩の咬合接触



SR Vivodent S PE

Small



SR Vivodent S PE

Medium



SR Vivodent S PE

Large



SR Orthotyp S PE

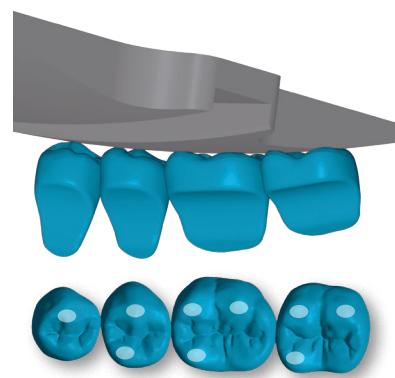
Posteriors



咬合面から見た場合、下顎臼歯部の中心窩は、歯槽頂に位置します。

臼歯部排列時の舌側位置は、パウンドラインが基準になります。パウンドラインは、レトロモラーパッドの舌側面と下顎犬歯の近心隅角を結んだ線になります。

Ivoclarのセットアップテンプレートは、スピーの彎曲とウィルソンカーブが再現されています。
それらの湾曲はバランスのとれた上下グループガイダンスにとって必要になります。
頬側咬頭と近心舌側咬頭がプレートに接触するようにしてください。



製作・構造説明

重要な注意事項

可撤性義歯補綴装置が、長期間にわたって機能するためには、以下の前提条件が必要になります。

- 義歯は歯科医師と歯科技工士が緊密な情報共有を行い、設計・製作する必要があります。
- 歯科技工所での本製品の取り扱いは、製造元の指示に従ってください。特に義歯は、過度の研削によって強度不足にならないよう注意する必要があります。
- PMMA/コンポジットレジン人工歯と義歯床材との確実な接着を確保するために、人工歯をスチームクリーナーで洗浄、その後、維持形態の付与、粗面にし、モノマーを塗布します。常温重合型の義歯床材で完成させるには、追加の機械的維持を推奨します。
- 人工歯を直接熱にさらしたり、炎(アルコールランプ等)に触れさせたりしないでください。人工歯の損傷・変色・着色などの要因となります。
- 研削中は、高い研削圧力による過熱を防止する必要があります。
- 表面滑沢材・義歯洗浄スプレーの塗布はお勧めいたしません。
- Ivoclar製の義歯床材にて義歯製作・重合を実施する際は、義歯床材の変色防止のため、弊社レジン分離材セパレート液のご使用を推奨いたします。
- 研磨の際は、防塵マスクを着用し、粉塵から保護するために吸引装置を使用する必要があります。
- 義歯は通常の洗浄剤と義歯洗浄用の柔らかいブラシで洗浄できます。溶剤との接触を防ぐ必要があります。
- 重合したメタクリレートがアレルギーを引き起こす可能性があります。
- 歯冠修復用のベニアリング材(レジン・ステイン材)を使用する場合は、そのベニアリング材の使用説明書に従ってご使用ください。
- 研磨による粉塵が目に入るのを防ぐために、保護メガネを着用することをお勧めします。

Combination Table

		SR ビボデント S PE		SR オーソタイプ S PE (22°)
		前歯		臼歯
		Upper	Lower	Upper/Lower
Small	▲	A22 A42	A3, A4, A5 A3, A4, A5	N3U/N3L, N4U/N4L N3U/N3L, N4U/N4L
	●	A44	A3, A4, A5	N3U/N3L, N4U/N4L
	■	A11 A13	A3, A4, A5 A3, A4, A5, A6	N3U/N3L, N4U/N4L N3U/N3L, N4U/N4L
	▲	A25 A26	A6, A7, A8 A7, A8	N4U/N4L, N5U/N5L N4U/N4L, N5U/N5L
	●	A54	A7, A8	N4U/N4L, N5U/N5L
	■	A12 A24B A66	A6, A7, A8 A6, A7, A8 A6, A7, A8	N4U/N4L, N5U/N5L N4U/N4L, N5U/N5L N4U/N4L, N5U/N5L
Medium	▲	A27 A68	A9, A10 A9, A10	N5U/N5L, N6U/N6L N5U/N5L, N6U/N6L
	●	A14	A8, A9	N5U/N5L, N6U/N6L N5U/N5L, N6U/N6L
	■	A15 A17	A10 A9, A10	N5U/N5L, N6U/N6L N5U/N5L, N6U/N6L
本組み合わせ表はガイドラインに基づいて推奨しています。 個々の臨床ケース、解剖学的条件が特殊な場合、組み合わせ表が適応しない可能性があります。				

一般的名称:アクリル系レジン歯 / 販売名:SR ピボデント S / 認証番号:228AGBX00013000 / 管理医療機器
一般的名称:アクリル系レジン歯 / 販売名:SR オーソタイプ S / 認証番号:306ACBX00023000 / 管理医療機器

製造販売元

Ivoclar Vivadent 株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷1丁目28番24号
TEL:03-6801-1301 FAX:03-5844-3657

ivoclar.com